

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公表番号】特表2008-501462(P2008-501462A)

【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-526606(P2007-526606)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 F 2/28 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 2/44

A 6 1 B 17/56

A 6 1 F 2/28

A 6 1 L 27/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月22日(2008.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

骨の回復のための拡張可能な移植物であって、以下：

該移植物に固有の、1つの拡張面であって、該1つの拡張面は、骨の回復面に対応する、拡張面；

該骨のための、第一の負担表面および第二の負担表面をそれぞれ形成する、対向する第一のプレートおよび第二のプレートであって、該第一のプレートおよび第二のプレートは、該移植物の拡張の際に、該1つの拡張面に沿って互いから離れて移動するために適している、第一のプレートおよび第二のプレート；

該第一の負担表面および第二の負担表面の各々のための、第一の支持体および第二の支持体であって、それぞれ、第一のプレートおよび第二のプレートの下方に位置する、第一の支持体および第二の支持体；ならびに

該移植物の拡張を制御するための手段であって、該手段は、各支持体と対応するプレートとの間に提供される材料ウェブを備え、該移植物の拡張を制御する所定の厚さを有する、手段、

を備える、拡張可能な移植物。

【請求項2】

各材料ウェブに隣接して位置する溝をさらに備え、該溝は、各支持体とそれぞれのプレートとの間のクリアランスを可能にするための所定の幅を有する、請求項1に記載の拡張可能な移植物。

【請求項3】

各支持体の長さが互いに実質的に等しい、請求項1に記載の拡張可能な移植物。

【請求項4】

前記プレートのうちの少なくとも一方の、少なくとも1つの第一の支持体の長さが、対

応する第二の支持体より短く、その結果、前記移植物の拡張の際に、前記第一のプレートおよび第二のプレートが、互いに対してある角度で移動する、請求項 1 に記載の拡張可能な移植物。

【請求項 5】

前記第一の支持体および第二の支持体が、1 対の第一の支持体および第二の支持体を備える、請求項 1 に記載の拡張可能な移植物。

【請求項 6】

拡張可能な移植物を患者に挿入するための、医療用挿入デバイスであって、以下：

中心ボアを有する把持部分；

該中心ボアに収容される第一の管；

該第一の管に収容されるねじ切りされた棒であって、該患者への挿入のために、移植物を受容するための遠位端を有する、ねじ切りされた棒；

該把持部分および/または該移植物キャリアに取り付けられた、ハンドル；ならびに該移植物の拡張を決定するためのゲージ、を備える、デバイス。

【請求項 7】

前記把持部分の近位端と前記第一の管の近位端とが、同一面にある、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記ハンドルが、前記把持部分と前記第一の管との、いずれかまたは両方の近位端に取り付けられている、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 9】

前記ハンドルが、前記把持部分および/または前記第一の管に対して自由に回転する、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 10】

前記ハンドルが、ねじ山を有する開口部を備え、該ねじ山のねじ山ピッチが、前記ねじ切りされた棒のねじ山ピッチに対応する、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 11】

前記ゲージが、前記把持部分内の、前記ねじ切りされた棒の一部を受容するための開口部を備える、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 12】

前記窓に隣接して位置する第一のマークをさらに備え、該第一のマークは、該窓内に表示される、前記ねじ切りされた棒の一部に提供された第二のマークに関連し、該ねじ切りされた棒の回転が、該第一のマークと第二のマークとの間の相対的な移動を引き起こす、請求項 11 に記載のデバイス。

【請求項 13】

前記ねじ切りされた棒が回転することを実質的に止めるロックデバイスをさらに備える、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 14】

骨の回復のためのシステムであって、以下：

少なくとも 1 つの拡張可能な移植物であって、骨の回復面に対応する 1 つの拡張面を有する、拡張可能な移植物；

回復させる骨の外側表面に隣接して位置するための、第一の管；

該骨の内部の遠位端に固定するためにねじ切りされた端部を有する第一の棒であって、該第一の棒は、該第一の管に受容される、第一の棒；

該第一の管を内部に受容するための第二の管；

該第二の管を受容するための第三の管であって、該第三の管は、該第三の管を該骨の外側表面に係留するための 1 つ以上の係合部材を備える、第三の管；

該骨の側面に細長開口部を作製するためのドリルであって、該ドリルは、該第一の棒によって案内される、ドリル；および

拡張可能な移植物を患者に挿入するための、医療用挿入デバイス、
を備える、システム。

【請求項 15】

前記医療用挿入デバイスが、以下：
中心ボアを有する把持部分；
該中心ボアに収容される第四の管；
前記第一の管に収容される第二の棒であって、該第二の棒は、前記患者への挿入のため
に移植物を受容するための遠位端を有し、そしてねじ切りされている、第二の棒；
該把持部分および/または該移植物キャリアに取り付けられた、ハンドル；ならびに
該移植物の拡張を決定するためのゲージ、
を備える、請求項 14 に記載のシステム。

【請求項 16】

ヒトまたは動物の骨の解剖学的構造を回復させるためのシステムであって、以下：
1つの拡張面を有する拡張可能な移植物であって、骨に導入されるように構成されてい
る、拡張可能な移植物；
該1つの所定の面を骨の回復面と一致させるように、該拡張可能な移植物を、該骨の内
部で位置決めするための手段；
該骨の回復面内で該移植物を拡張させるための手段であって、第一の支持表面および第
二の支持表面が、該骨の内部の組織を広げる、手段；ならびに
該移植物の周囲に充填材料を注入するための手段、
を備える、システム。

【請求項 17】

前記注入するための手段が、イオン性セメントを注入するように構成されている、請求
項 16 に記載のシステム。